

言の発のきょう

最近、オーストリア生まれの経済学者シュムペーターが脚光を浴びている。同時代のイギリスの経済学者ケインズが有効需要論を唱え、不況対策として公共事業の活用を指摘したのに対して、シ

ュムペーターは、資本主義社会において経済発展の源泉はイノベーション（技術革新）であると主張した。

今日、世界経済は同時不況の様相を呈しているが、先進各国とも財政問題を抱えているため、公共事業の拡大という景気

企業家社会

とく成長していく企業がある一方で、時代の変化に対応することのできない企業があることを知ることができる。以前、銀行に勤めていたとき、不況になればなるほど強い企業と弱い企業に二極分化することを教わった。

また、二十一世紀におけるエクスレント・カンパニーの基本的要件は、ただひとつ、変化への対応力だということを聞いたこともある。子は、親がすごした子供時代の生活ぶりを想像できないというぐらいの急激な社会変革の時代である。だから、

今こそ企業家の時代としたい。将来に夢をさせながら、明確なビジョンと目標達成のための手段を準備する。そして、企業家精神と経営管理技術を駆使して、変化をチャンスに変えたものだ。

財政依存の強い地方経済において、企業家社会が形成されていくほど、熊本発展にとって心強いことはない。

亀井 通産（井通産）
井 太郎（井太郎）
井 創（井創）
井 めい（井めい）
井 亀（井亀）